

【総統選挙】

1月13日に総統選挙が行われました。その前から選挙活動が各地で行われていましたが、日本と比べると割と静かな活動のような気がしました。それでも、選挙カーや街頭演説、街中のポスター・看板等は日本と似ていると感じました。日本と大きく異なるところは、台湾の投票は期日前投票ができず、本籍地での投票限定になるため、投票日当日は多くの人移動し交通が混雑するという点です。期日前投票がないことや本籍地限定という点が、日本の制度と比べると私は面倒に感じましたが、台湾の投票率は75% (2020年)でとても高く、政治への国民の意識の高さを感じました。

当日は、多くの人本籍地に戻るため台北は普段より静かに感じました。夕方ごろに総統府の近くに行きました。普段から警備の方が総統府の付近にいるのですが、少し人数が多かったり、警察や軍の車両がスタンバイしていたり、銃を持った人が警備にあたりたりと、いつもより緊張感が漂っていました。



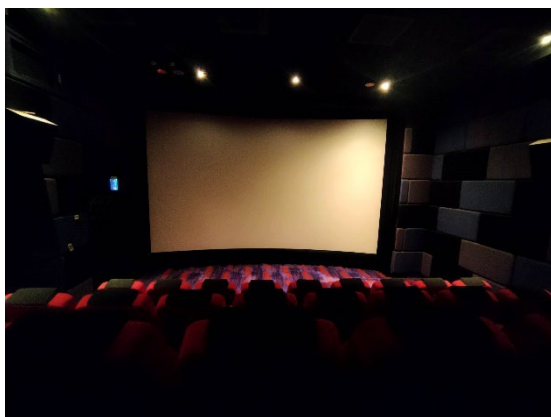
←投票日当日の総統府です。黄色の印のところに警察か軍の車両があります。想像以上に見にくくて申し訳ないです。

【映画】

1月は映画を2回見に行きました。もののけ姫とSPY×FAMILYです。どちらも日本語版で見ました。中国語の字幕があったので、それを見ながら、このフレーズはこのように翻訳するのだな—と思いながら見ていました。ちなみに、もののけ姫のキャッチコピーである「生きろ」は「活下去(Huó xiàqù)」です。使ってみてください。

台湾と日本の映画の違いはたくさんありました。まずは料金です。日本ではどの映画館に行っても、料金は一律ですが、台湾では映画館ごとに異なります。大学生料金はおおよそ240元(約1100円)くらいです。あまり日本と大差ないように感じます。また、

私は寮の近くの映画館に行ったため、繁華街と違いとても小さなシアターでした。日本では見たことないくらい小さいシアターです。また新しい映画の場合、同じ時間帯別のシアターでも上映し、別の時間帯でもさらに上映し、とにかく1日でたくさん上映します。1回分のお客さんはとても少ないです(10数人程度)。逆に、日本で映画を見たことがある台湾人の友達は、日本の映画館は人が多すぎてびっくりしたと言っていたので、おそらく台湾では1回分のお客さんが少ないのは普通のことなのでしょう。一番驚いたのは、入場が開演5分を切ってからということです。初めて見に行った時はとても戸惑いました。そして、日本では本編が始まる前に長いCMのようなものがありますが、台湾ではそれがとても短い！私にとって魅力的なポイントの1つです。



←私が座った席は4列目の席でした。全体は54(6×9)席でだいぶ小さなシアターだと思います。前に行ったシアターはこれより小さかったです。繁華街の大きな映画館には、日本の一般のシアターと同じくらいかそれよりも大きいものもあります。

【言語交換】

一緒に中国語の授業を受講している友達と言語交換をすることになりました。その友達は韓国人なので、日本語と韓国語の言語交換です。前から韓国ドラマを見るのが好きだったので、いつかちゃんと韓国語を勉強しようと思っていましたが、なかなか始められません。台湾人で韓国語が話せる人が周りに多く、彼らはみなドラマを見るなど独学で習得したそうです。それを聞いて私も挑戦してみようと思いました。新しく言語を学ぶのはもちろん大変なのですが、母語を教えるのも想像以上に大変だということが分かりました。どうしてそのような発音になるのか表現になるのか質問されても、日本語が母語の私にとっては自然に身に付いたものなので、理由を考えたことがなく、説明するのがとても難しいです。

中国語と韓国語の勉強のために、次の学期はKCAFEという活動に参加してみようと思っています。韓国好きな台湾人と韓国人が交流する活動です。台湾人、韓国人以外でも韓国に興味がある人は参加できるそうなので、韓国の友達と参加する予定です。

留学生活も折り返しになったので、やりたいと思ったことを全て挑戦して後悔だけはしないようにしたいです。失敗しても留学生活に終わりは来るのでなんとかなるか、という気持ちで、留学生活後半も楽しく勉強します！